

One Point

## 簡単レシピで使う 基本テクニック

### のり巻き



円柱に作ったフィモの外側に、  
平に伸ばした長方形のフィモを巻き付けます。  
巻き付ける際は、端の部分が重ならない  
様にするときれいに仕上がります。  
色を変えて何重にも巻き付ける事により  
カラフルな層のミルフィオリが  
出来上がります。

興味を持たれた方には、通信講座もございます。  
詳しくは[www.staedtler.co.jp/fimo/FCC/index.html](http://www.staedtler.co.jp/fimo/FCC/index.html)

### 安全にご使用頂くために

- ・安全には、十分配慮しておりますがフィモを口に入れたりしないで下さい。
  - ・加熱の際は、所定の温度や時間を守ってご使用下さい。
  - 指示通りに温度や時間が設定されませんと作品が焦げたり、十分に硬化しない恐れがあります。
  - ・加熱の際は、部屋の換気を行うようにして下さい。
  - ・加熱後は、作品を十分に冷まして下さい。
  - (加熱直後は作品が熱くなっておりますので、取り扱いには十分にお気をつけ下さい。)
  - ・8歳未満のお子様制作作業、加熱作業を行う場合は、必ず大人の監督下で行って下さい。
  - ・オープンの温度測定には、専用の温度計をご使用下さい。
  - ・使用後のフィモはラップ等で包み、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
  - ・作業が済みましたら、手をよく洗って下さい。
  - ・制作に使用した道具は、作業終了後アルコールを含んだウエットティッシュで良く拭いて十分に乾燥させて下さい。
- 対象年齢 8歳以上(※それ以下のお子様の場合は、大人の監督下でお楽しみ下さい)



ステッドラー日本株式会社  
〒101-0032東京都千代田区岩本町1丁目6番3号  
TEL 03-5835-2815 FAX 03-5835-2823  
[www.staedtler.co.jp](http://www.staedtler.co.jp)



# FIMO®

## 簡単レシピ

難易度



オープクレイ  
フィモソフトで作る



完成図

～パンダ柄のクリップ～



### 準備するもの

・フィモソフト



※今回のレシピでは  
(0)ホワイト  
(9)ブラック  
(39)ペパーミントを使用

- ・クリップ
- ・粘土板(下敷きでも代用可)
- ・定規
- ・カッター



### はじめに

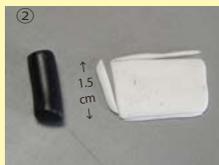
- ①フィモへの汚れの付着を防ぐ為に、作業台の上や、手などはきれいにしてから始めて下さい。
- ②作品を作成する際は、手のひら等でフィモを軽く暖め、よくこねて下さい。
- ③刃物や取扱いや、作品加熱時のオープンへの出し入れには、十分気をつけて下さい。



# パンダ柄のクリップ



① (0)と(9)のフィモを直径9mmの球にする



② (9)のフィモを直径5mmの円柱に、(0)のフィモを長方形にする



③ ②で作った円柱に、長方形を巻きつける



④ 直径1.8cmの球状の(9)のフィモを、上の図のように両端を薄く整形する



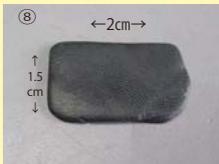
⑤ ③に④を巻く



⑥ 直径1.4cmの球状の(0)のフィモを、上の図のように両端を薄く整形する



⑦ ⑤に⑥を巻く(目が完成)



⑧ 直径9mmの球状の(9)のフィモを薄い長方形にする



⑨ 直径1.7cmの球状の(0)のフィモを高さ1.5cmの円柱にして⑧を巻く(口部分完成)



⑩ ⑦⑨の円柱を長さ4cmに伸ばし2等分する



⑪ 直径1cmの球状の(9)のフィモを三角形に整形し⑩で2等分した口の間に鼻の1.5倍の(0)のフィモを下に入れる



⑫ ⑪で作った口の上に⑩で切った目を置き、直径1cmの球状の(0)のフィモを2個三角形にして頬の所に入れる



⑬ 直径1.3cmの球状の(0)のフィモ1個と、を作り、直径7mmの球状の(0)のフィモを2個をそれぞれ高さ2cmに円柱にし、おでことその両側に配置する



⑭ 直径1.8cmの球状に(0)のフィモを2×8.5cm幅の長方形にしパンダの顔を一卷きする



⑮ 直径1.8cmの球状の(9)のフィモを長さ4cmの円柱にして2等分し耳にする



⑯ 直径3cmの球状の(3)のフィモを高さ2cmの長方形に整形し、顔の周りに巻く



⑰ ⑰と同様に耳の上にも(3)のフィモをパンダの顔をくるむ様に巻く



⑱ お好きな大きさになるまで顔が崩れないように手で細長く伸ばす



5mm厚に切って半分までカッターで切込みを入れ、クリップを挟み、なじませ110度のオープンで30分加熱する



## 完成!

Design by ATELIER mary/ 高橋 マリ

### ■加熱時の注意

- 作品を加熱する際は、温度を一定に保てるオープンを使用して下さい。
- ※オーブントースターや電子レンジは使用不可
- 110度で20～30分加熱して下さい。
- 加熱直後の作品は熱くなっておりますので、お取扱いにはご注意ください。